

【2023年卒 就職活動TOPIC】 インターンシップ・1day仕事体験の期間別参加状況と就業体験

学生が参加したインターンシップ・1day仕事体験の件数全体のうち、
「1日以下」のプログラムは87.0%、そのうち就業体験が含まれていたプログラムは25.4%

株式会社リクルート（本社：東京都千代田区 代表取締役社長：北村 吉弘）のより良い就職・採用の在り方を追求するための研究機関・就職みらい研究所（所長：栗田 貴祥）は、就職みらい研究所学生調査モニターの大学生・大学院生を対象に「就職プロセス調査」を実施いたしました。このたび調査結果がまとまりましたので、一部を抜粋してご報告申し上げます。

「1日以下」のプログラムの開催が多く、就業体験の機会が少ない様子うかがえる



所長 栗田 貴祥

今回は2023年卒学生の、インターンシップ・1day仕事体験の期間別参加状況と、就業体験の有無などについて分析しました。まず、インターンシップ・1day仕事体験への参加経験がある学生は83.2%、経験者の平均参加回数は9.93回。学生が参加したインターンシップ・1day仕事体験の件数全体のうち、「1日以下」が占める割合が全体の87.0%でした。また、参加したプログラム期間別に就業体験（企業の実務を体験すること）が含まれていた割合を見ると「1日以下」は25.4%で、期間が長くなるほど就業体験が含まれる割合が高まります。企業側の実施期間の多くが「1日以下」である※ことから、学生の参加希望の有無にかかわらず、就業体験を得られる機会が少ない様子うかがえます。インターンシップ・1day仕事体験への参加は、やりたい仕事やキャリアを考えるきっかけになります。業界や仕事内容への理解は1日のプログラムでもある程度得られると思いますが、自分の能力を見極めることにつながる長い期間のインターンシップや就業体験の機会の増加が、企業と学生のより良いマッチングの実現に寄与すると考えます。

※『就職白書2022』

インターンシップ・1day仕事体験 参加件数全体におけるプログラム期間の割合

大学生_全体（就職志望者かつ就職活動経験者のうち、インターンシップ・1day仕事体験経験者/実数回答）※大学院生除く



本件に関する
お問い合わせ先

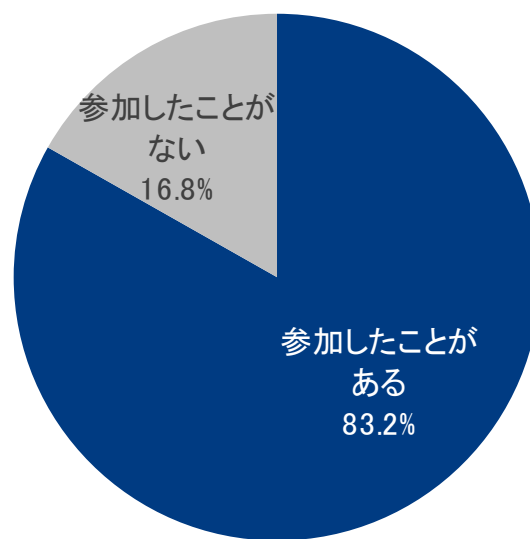
<https://www.recruit.jp/support/form/>

8割以上の学生がインターンシップ・1day仕事体験への参加経験がある

インターンシップ・1day仕事体験への参加経験について、「参加したことがある」が83.2%、「参加したことがない」が16.8%という結果だった。

インターンシップ・1day仕事体験への参加経験

大学生_全体（就職志望者かつ就職活動経験者/単一回答）※大学院生除く



「1日以下」プログラムが参加件数全体の87.0%を占める

インターンシップ・1day仕事体験経験者の平均参加回数は、9.93回。そのうち「1日以下」のプログラムへの平均参加回数が8.64回だった。インターンシップ・1day仕事体験の件数全体のうち、「1日以下」の割合は全体の87.0%。また、参加したプログラム期間別に就業体験（企業の実務を体験すること）が含まれていた割合を見ると「1日以下」は25.4%で、期間が長くなるほど就業体験が含まれる割合が高かった。

インターンシップ・1day仕事体験の平均参加回数

大学生_全体（就職志望者かつ就職活動経験者のうち、インターンシップ・1day仕事体験経験者/実数回答）※大学院生除く
(回)

全体					
	1日以下	2日以上～ 5日未満	5日以上～ 2週間未満	2週間以上～ 2カ月未満	2カ月以上
9.93	8.64	1.12	0.13	0.03	0.02

インターンシップ・1day仕事体験 参加件数全体におけるプログラム期間の割合

大学生_全体（就職志望者かつ就職活動経験者のうち、インターンシップ・1day仕事体験経験者/実数回答）※大学院生除く

全体					
	1日以下	2日以上～ 5日未満	5日以上～ 2週間未満	2週間以上～ 2カ月未満	2カ月以上
—	87.0%	11.3%	1.3%	0.3%	0.2%

インターンシップ・1day仕事体験の件数全体のうち就業体験が含まれていた割合

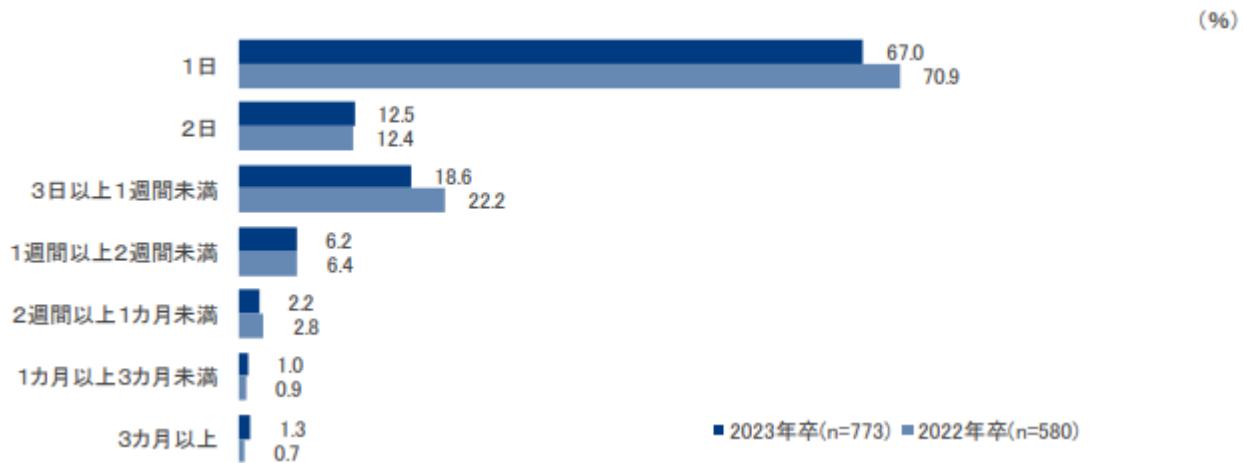
大学生_全体（就職志望者かつ就職活動経験者のうち、インターンシップ・1day仕事体験経験者/実数回答）※大学院生除く

全体					
	1日以下	2日以上～ 5日未満	5日以上～ 2週間未満	2週間以上～ 2カ月未満	2カ月以上
—	25.4%	35.7%	52.5%	55.6%	71.6%

参考データ

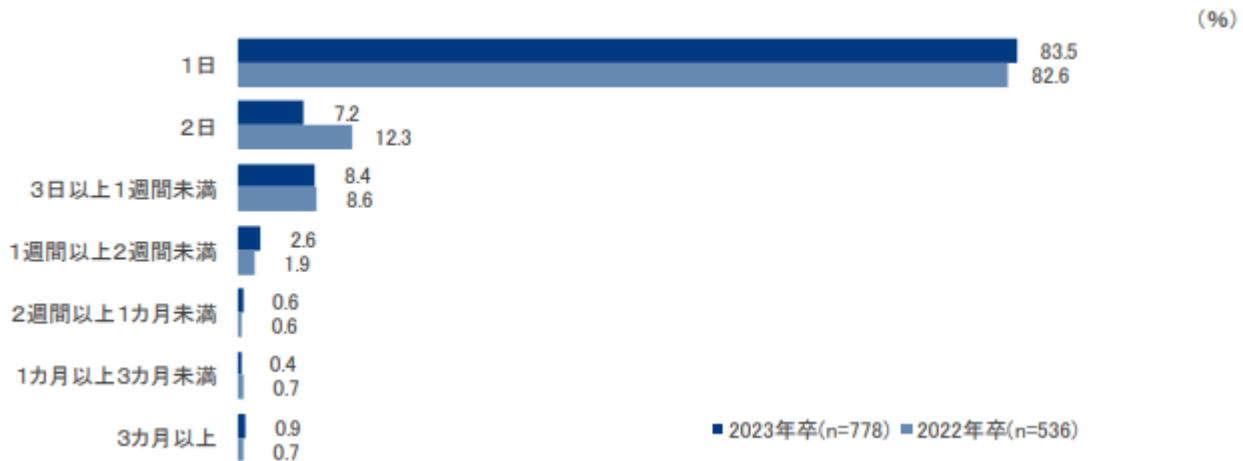
■2023年卒対象インターンシップの主な実施期間 (対面)

(2023年卒対象インターンシップ実施または実施予定企業／複数回答)



■2023年卒対象インターンシップの主な実施期間 (Web)

(2023年卒対象インターンシップ実施または実施予定企業／複数回答)



※ 出典『就職白書2022』：企業調査期間 2021年12月4日～2022年1月12日

※ 「インターンシップ」という表記は1日以内の仕事体験型プログラムを含めて使用している

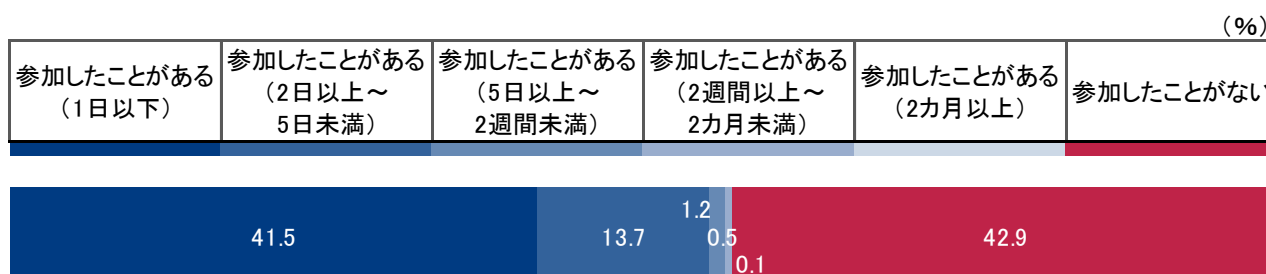
内定取得企業のインターンシップ・1day仕事体験に半数以上が「参加経験あり」

2022年5月15日時点の内定取得企業について、インターンシップ・1day仕事体験の参加経験を聞いたところ、半数以上が「参加したことがある」と回答。「参加したことがない」は約4割だった。参加期間を見ると、「1日以下」が41.5%で最も高かった。

内定取得企業のインターンシップ参加状況

大学生_内定取得者（就職志望者/複数回答 内定取得先企業最大5社分についてそれぞれ聴取し合計）

※大学院生除く



調査概要

調査目的 | 大学生・大学院生における就職活動の実態を把握する

調査方法 | インターネット調査

集計方法 | 大学生については、性別、専攻、所属大学の設置主体を基に、実際の母集団の構成比に近づけるよう、文部科学省「学校基本調査」の数値を参照し、ウェイトバック集計を行っている

2023年卒：2022年5月15日時点

調査対象 | 2023年卒業予定の大学生および大学院生に対して、『リクナビ2023』（※）にて調査モニターを募集し、モニターに登録した学生7,634人（内訳：大学生6,259人/大学院生1,375人）

調査期間 | 2022年5月16日～5月18日

集計対象 | 大学生 1,033人/大学院生 338人

※リクナビ：株式会社リクルートが運営している、就職活動を支援するサイト
<https://job.rikunabi.com/2023/>

モニターの抽出条件

「卒業後の志望進路（志望する進路の全て）」の回答状況を基に、次の条件で対象を抽出

本調査対象 = 「就職意向者（就職志望者＋志望進路未決定者）」（※モニター募集時）

本調査対象については、以下を除いた

- 就職志望者のうち「②公務員」「③教員」「④医師・歯科医師・看護師」のみ選択した者
- 就職以外「⑥起業」「⑦進学(国内)」「⑧進学(留学)」「⑨その他」のみ選択した者

調査結果を見る際の注意点

- 「内定率」は内定・内々定を含む。政府の要請における正式な内定日は10月1日以降である
- %を表示する際に小数点第2位で四捨五入しているため、%の合計が100%と一致しない場合がある
- 「前回差」「前年同月差」の単位は、「ポイント」
- 本資料での「前年」とは、「2022年卒」を示す

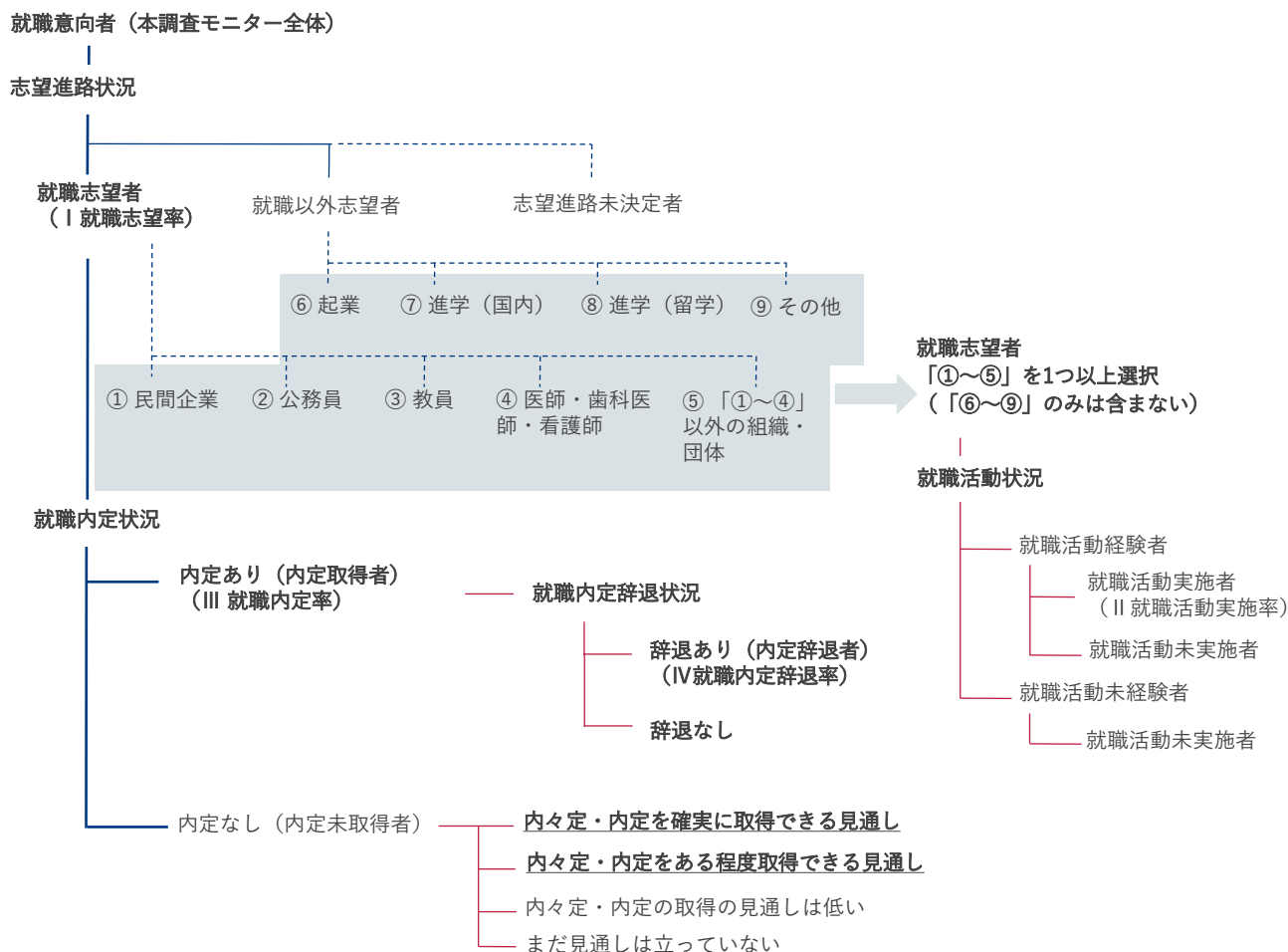
リクルートグループについて

1960年の創業以来、リクルートグループは、就職・結婚・進学・住宅・自動車・旅行・飲食・美容などの領域において、一人一人のライフスタイルに応じたより最適な選択肢を提供してきました。現在、HRテクノロジー、メディア&ソリューション、人材派遣の3事業を軸に、4万6,000人以上の従業員とともに、60を超える国・地域で事業を展開しています。2020年度の売上収益は2兆2,693億円、海外売上比率は約45%になります。リクルートグループは、新しい価値の創造を通じ、社会からの期待に応え、一人一人が輝く豊かな世界の実現に向けて、より多くの『まだ、ここにいる、出会い。』を提供していきます。

詳しくはこちらをご覧ください。

リクルートグループ：<https://recruit-holdings.com/ja/> リクルート：<https://www.recruit.co.jp/>

就職志望者から見た内定状況の構図



<各率の算出方法>

I 就職志望率	=	就職志望人数 ÷ 就職意向人数
II 就職活動実施率	=	就職活動実施人数 ÷ 就職志望人数
III 就職内定率	=	就職内定取得人数 ÷ 就職志望人数
IV 就職内定辞退率	=	就職内定辞退人数 ÷ 就職内定取得人数

<用語の定義>

● 就職意向者	=	当初 (本調査モニター募集時) の志望進路が「就職」および「未決定」者
● 就職志望者	=	当月、就職を志望している者
● 就職活動実施者	=	当月、就職活動を実施している者 (※)
● 就職活動経験者	=	当月までに就職活動の経験がある者
● 就職内定取得者	=	当月までに内定 (内々定) の取得経験がある者
● 就職内定未取得者	=	当月までに内定 (内々定) の取得経験がない者
● 進路確定者	=	当月、進路が確定している者
		進路確定率 = 進路確定人数 ÷ 就職意向人数
● 就職内定辞退者	=	当月までに内定 (内々定) の辞退経験がある者

≪地域区分の内訳≫

○ 関東	=	東京都、千葉県、神奈川県、埼玉県、茨城県、栃木県、群馬県
○ 中部	=	静岡県、愛知県、岐阜県、山梨県、長野県、新潟県、富山県、石川県、福井県
○ 近畿	=	京都府、大阪府、兵庫県、奈良県、和歌山県、三重県、滋賀県
○ その他地域	=	「関東」「中部」「近畿」以外の地域

※就職活動実施状況について、「している」「していない」の選択肢のうち、「している」と回答した者